

岩沼市の復興の息吹～田植えと沿岸部に咲くオオヤマザクラ～

2013年5月3日に開催された、NPO法人「がんばっと!! 玉浦」主催のお田植祭に参加しました。津波被害を受けた田んぼで昨年に引き続いて田植えが行われました。幸いにもお天気に恵まれ、やわらかい春の日差しの中、約100名の参加者の方々が田んぼに入って田植えを行いました。

この活動は、環境デザイン（石川）研究室で取り組んでいるペアリング支援の一環であると同時に、RISTEXのプロジェクトで取り組んでいる岩沼市の地元の方々へ小型のUAV（無人ヘリコプター）を運用していただく活動の一環でもあります。平時には運動会などの地域のイベントを空から撮影するといったコミュニティの活動の支援に利用していただき、災害発生時には、上空から、状況の把握に活用していただくことを目指しているものです。

お田植祭当日は、残念ながら、山からの吹き下ろしの風が強く、一般の方には操縦が難しい天気でありましたので、操縦に慣れているRISTEXのプロジェクトメンバーである首都大学東京の泉助教がUAVを操縦してイベントの様子を空から撮影しました。

お田植祭の翌日に、津波被害から残った海岸林の調査を行いました。2012年10月に行った調査とその後のデータの解析により、浜堤列と呼ばれる砂浜のなかでも若干周囲よりも標高が高い場所である砂丘の場所に植えてあった海岸林が津波からの被害を受けにくいことがわかりつつあったので、その事実を現地で確認するために行いました。その結果、前回の調査結果の精査から推定されたとおり、周囲よりも若干高い場所に海岸林が多く残存していることが確認されました。

海岸林のなかに、前回の調査でオオヤマザクラが確認されていましたが、それが今回の調査の時に花咲かせていました。津波による浸水を乗り越えて、花を咲かせているオオヤマザクラを見て、改めて、生命の強さを認識すると同時に、今後の千年希望の丘にどのような森を作っていけばよいのかを学術的にしっかりとした考察を行っていかねばいけないと改めて考えさせられる調査になりました。

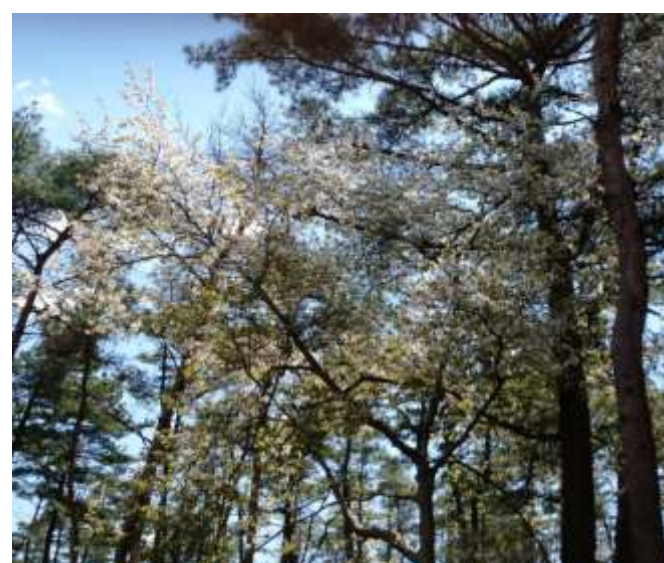


写真：お田植祭の様子

上：地上撮影、下：UAVによる上空からの撮影



写真：海岸林の中のオオヤマザクラ



写真：海岸林の中のオオヤマザクラ